

159 お神明の^{しんめい}三本松^{さんぽんまつ}



指 定 市天然記念物 昭和47年 5 月 5 日
所在地 上小田切
所有者 上小田切西区



植物分類上は、マツ科マツ属のアカマツ（またはメマツ）である。
上小田切（通称十二新田）の県道ばたに立つ自生の赤松を「お神明の三本松」という。枝下を道路が通っているため幾度か下枝は切られている。幹は根元から3本にわかれて枝をひろげている。

樹高約20m、周囲目通り4.75mで、^{じょし}樹姿の美しい赤松で樹齢推定350年の大木である。

字「神明」は、この地域の開拓当初の承応3年（1654）水帳にも載る地名で、当初に神明社（伊勢神宮）を祀り、神に事業の成功を祈り開拓事業に臨んだものと思われる。今もこの地を「お神明」と呼んでおり、住民は村の歴史とともに、この赤松を神木として大切にしている。